

STORAGE CONTAINER FOR EMERGENCY ITEM OR THE LIKE

Patent number: JP9323748
Publication date: 1997-12-16
Inventor: MUSHA KOHEI
Applicant: SAITO KOZO
Classification:
- **international:** B65D55/04; A45C11/00
- **european:**
Application number: JP19960159189 19960531
Priority number(s): JP19960159189 19960531

Report a data error here

Abstract of JP9323748

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a storage container for emergency items or the like where their position can be shown at a glance even in a complete darkness without any illumination.

SOLUTION: In a box-shaped yoke provided with a lid which is appropriate in shape and size and capable of being freely opened/closed, a container body 1 whose lid is closed and clip members 8, 9 to seal the joint of the lid are formed of the material in which the luminous pigment is mixed in a colorless or colored and transparent synthetic resin, the clip members 8, 9 are connected to the container body 1 or the lid 2, and the clip members 8, 9 emit light in a place without any illumination.

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

公開特許公報 (A)

(10)出願公開番号

特開平9-323748

(43)公開日 平成9年(1997)12月16日

(51)Int.Cl.*

B 6 5 D 55/04

A 4 5 C 11/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 5 D 55/04

A 4 5 C 11/00

Q

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全4頁)

(21)出願番号

特願平8-159189

(22)出願日

平成8年(1996)5月31日

(71)出願人 596089115

斎藤 公藏

足利市鹿島町1124

(72)発明者 武者廣平

東京都目黒区大橋2-4-8-305 武者

デザインプロジェクト内

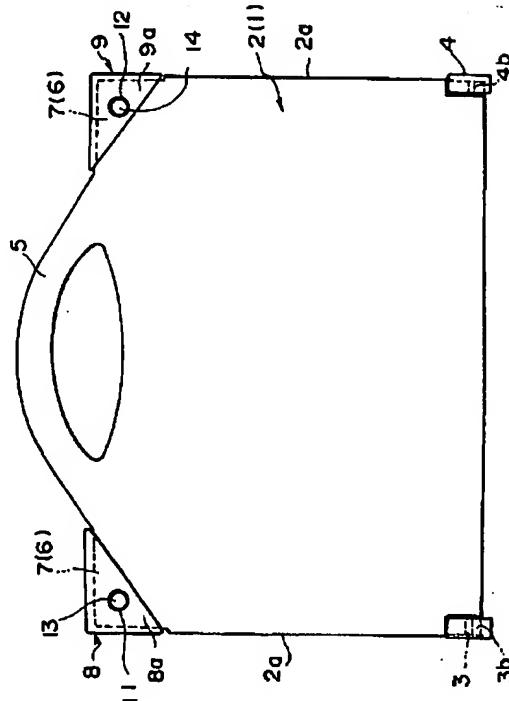
(74)代理人 弁理士 橋口盛之助 (外1名)

(54)【発明の名称】 緊急用品等の収納容器

(57)【要約】

【課題】 照明光の全くない真暗闇の中でも、その在り場所が一目して判るようにした緊急用品等の収納容器を提供すること。

【解決手段】 適宜の形状、大きさで、開閉自在な蓋を具備した箱状容器であって、前記蓋を閉じた容器本体1とその蓋の合せ目を封止するためのクリップ部材8、9を、無色又は有色透明の合成樹脂材に蓄光顔料を混練した材料によって形成し、該クリップ部材8、9を前記容器本体1又は蓋体2に連結して取付けて成り、照明光のない場所で前記クリップ部材8、9が発光するようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 適宜の形状、大きさで、開閉自在な蓋を具備した箱状容器であって、前記蓋を閉じた容器本体とその蓋の合せ目を封止するためのクリップ部材を、無色又は有色透明の合成樹脂材に蓄光顔料を混練した材料によって形成し、該クリップ部材を前記容器本体又は蓋体に連結して取付けて成り、照明光のない場所で前記クリップ部材が発光するようにしたことを特徴とする緊急用品等の収納容器。

【請求項2】 無色又は有色透明の合成樹脂材に蓄光顔料を混練した材料により形成した発光プレートを、前記箱状容器の両側面又は前後に取付けた請求項1の緊急用品等の収納容器。

【請求項3】 クリップ部材又は発光プレートは、合成樹脂で成形し、その外表面に蓄光顔料を混練したフィルム状部材又はシート状部材を積層することにより、前記クリップ部材又は発光プレートを照明光のない場所で発光させるようにした請求項1又は2の緊急用品等の収納容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、地震や火災等の緊急時に持出す物品や、そのような時に使用する物品を収納しておくためのボックス状の容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、緊急時の持出品や貴重品等を収容し、家庭等において特定の場所に常備しておくための容器として、袋状、バッグ状、リュック状、ボックス状等をなす様々な容器が知られており、実用に供されているものも多い。

【0003】 従来知られている上記のような緊急持出用の容器において、それが緊急用であることを大きな文字で表示したものや反射材を貼設したものがあるが、停電などにより、照明光が全くないような暗闇の中で、その容器がどこにあるかを視認できるようになったものはない。

【0004】 しかし乍ら、暗闇の中でも前記のような容器が何処にあるかを視認できるものでなければ、夜間の地震や火災等の緊急時には、照明を消していたり、停電で照明具を点灯できない場合が多いため、緊急用品の有用性を發揮させることは、殆んど不可能である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本発明はこのような点に鑑み、照明光の全くない真暗闇の中でも、その在り場所が一目して判るようにした緊急用品等の収納容器を提供することを、その課題とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決することを目的としてなされた本発明収納容器の構成は、適宜の形状、大きさで、開閉自在な蓋を具備した箱状容器であって、前記蓋を閉じた容器本体とその蓋の合せ目を封止するためのクリップ部材を、無色又は有色透明の合成樹脂材に蓄光顔料を混練した材料によって形成し、該クリップ部材を前記容器本体又は蓋体に連結して取付けて成り、照明光のない場所で前記クリップ部材が発光するようにしたことを特徴とするものである。

【0007】 本発明収納容器は、上記構成に加え、無色又は有色透明の合成樹脂材に蓄光顔料を混練した材料により成形した発光プレートを、前記箱状容器の両側面又は前後に取付けることにより、より視認性を高めることもできる。

【0008】

【発明の実施の形態】 次に図に拠り本発明収納容器の具体例について説明する。図1は本発明収容容器の一例の正面図、図2は図1の容器の左側面図、図3は容器の内側構造の一例を示す正面図である。

【0009】 図1、図2に於て、1は本発明容器における容器本体、2は前記容器本体1に対する蓋体で、図示した例では、容器本体1と蓋体2とを、同一形態に形成したものを二枚貝状に向い合せ、両者1、2の左右の側面1a、2aの下端部を、ヒンジ部材3、4により連結することにより、両者1、2が対称な形で水平に展開できるように形成されている。

【0010】 上記の容器本体1と蓋体2において、両部材1、2は、合成樹脂の成形品として形成されているが、材質については他の材質のものであってもよい。また、前記本体1と蓋体2の上部には、同一形状の提げ手5が形成されている。更に、ヒンジ部材3、4は、無色透明又は有色透明の合成樹脂材に蓄光材料を混練した材料によって図示した形状に成形したもので、容器本体1と蓋体2の左、右側面1a、2aの下端部に、それぞれ軸3a、3b、同4a、4bにより軸支されることにより、図1、図2の立ち姿勢から両者1、2を180°開き、水平に展開した状態で開けることができるようにならされている。

【0011】 6、7は、容器本体1と蓋体2における左右の肩部に形成した封止部で、左、右の封止部6、7は、図示した例では正面からみて対称的な三角形状をなし、側面からみて容器本体1と蓋体2の側面幅よりかなり小さな厚味に形成されている。

【0012】 8、9は、上記の左、右封止部6、7に上から嵌合させて被せ、容器本体1と蓋体2を閉じた状態、即ち、二枚貝を閉じたような形態にある容器本体1と蓋体2を開けられないようにロックするクリップ部材で、このクリップ部材8、9も前述のヒンジ部材3、4と同じ材料によって成形したものである。

【0013】 このクリップ部材8、9は、図示の例では、前記封止部6、7を前後から弾力的に挟持できる前後の挟持片8a、9aと、この挟持片8a、同9aの側端面を塞

ぐ側片8b, 9bとにより、大略帽体が形成され、前記封止部6, 7に、上方又は側方から被せるようにして、閉じた状態の容器本体1を蓋体2をロックする。

【0014】11, 12は、前記クリップ部材8, 9の挟持片8a, 9aと封止部6, 7を貫通して形成した門穴で、この穴11, 12に門として作用する棒状のピン13, 14を挿込むことにより、前記クリップ部材8, 9がそれぞれの封止部6, 7から外力等によって離脱するのを防ぐようしている。なお、前記クリップ部材8, 9とピン13, 14は、図に表われないが紐、鎖などによって容器本体1又は蓋体2に連繋しておくことにより、これらの部材8, 9, 13, 14が散逸することを防止することが望ましい。

【0015】上記のように構成される本発明収納容器Bは、その内部を収納物を収容しやすい区画や仕切りを設けて、個々の物品の収容部に形成するが、その形態は収納する具体的な物品に応じて適切な形態にすればよい。図3は、上記容器Bの中を各サイズの乾電池と非常用のローソク又は機中電灯の収容部に形成した例の正面図である。

【0016】図3の収容部Cは、一例として合成樹脂の発泡体、或は、合成樹脂の成形体により、單一型～単四型までの乾電池U₁～U₄の収容部b₁～b₄を規則的に凹設すると共に、中央部に、図の例では非常用のローソクRとマッチ（図に表われず）による非常用照明具の収容部a₁を設けたものである。本発明収納容器Bにおける収容部Cの形態は、上記例は一例であって、どのような形態とするか、そして、どのような物品を収容するかは全く任意である。

【0017】本発明収納容器Bは、上記のように非常用の所要物品、或は、常備すべき所要の物品を収容して、家庭等において所定の位置に配置しておき、停電時においてもその在り場所を容易に視認できるようにしたものである。

【0018】即ち、上記容器Bは、そのヒンジ部材3, 4、及び、クリップ部材8, 9が、この容器Bの外面四隅にあり、かつ、それらが自然光又は人工光を受光していれば長時間の発光をする蓄光材料を混練した材料による成形品であることにより、仮に、停電等によって屋内が暗闇となつても、前記ヒンジ部材3, 4、及びクリップ部材8, 9が長時間に亘り発光するので、容易かつ迅速にこの容器Bを視認することができる。

【0019】しかも、蓄光材を含んだヒンジ部材3, 4とクリップ部材8, 9とは、透明収納容器Bのどの面から見ても、見る方向に対向した面をもつてるので、この容器Bの向きによって、発光部位が見えたり、見えなかつたりすることはないので、きわめて眼に付きやすい。

【0020】

【発明の効果】本発明は以上の通りであって、非常用又は緊急用の物品、若しくは、常備すべき物品を収容する蓋付き容器を、蓄光材料を混練した透明な合成樹脂材を成形したクリップ部材によってこの容器本体と蓋体とを封止するように形成したので、この容器が暗闇の中に置かれても、前記クリップ部材の発光によってその在り場所を容易に視認することができ、停電時等の暗闇の中でこの容器をきわめて容易に探し出すことができる。従つて、本発明容器は、照明光のない緊急時や停電時などにおける必要な物品を収納しておく容器としてきわめて有用である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明収容容器の一例の正面図。

【図2】図1の容器の左側面図。

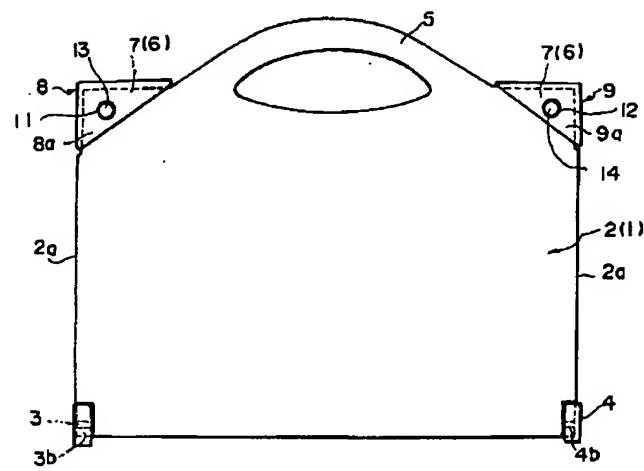
【図3】容器の内側構造の一例を示す正面図。

【符号の説明】

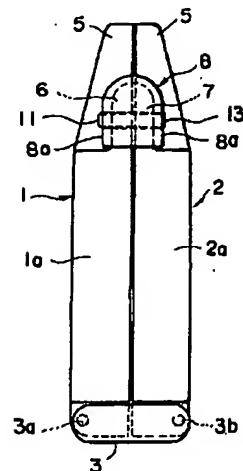
1	容器本体
2	蓋体
3, 4	ヒンジ部材
3a, 3b	軸
4a, 4b	軸
5	提げ手
6, 7	封止部
8, 9	クリップ部材
8a, 9a	挟持片
11, 12	門穴
13, 14	ピン
B	本発明収納容器
C	収容部
a ₁	照明具収容部
b ₁ ～b ₄	乾電池収容部
U ₁ ～U ₄	乾電池
R	ローソク

BEST AVAILABLE COPY

【図1】



【図2】



【図3】

